

2024 年度地域福祉チャレンジ活動 新規助成対象活動概要

1. 福祉と防災が地域でつながる住民主体の 自主的福祉避難所づくり

西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会
(静岡市駿河区)

当団体は、地域住民と保健福祉専門職等で構成された任意のボランティア団体である。住民組織、学校・PTA、静岡市、静岡市社協、福祉施設・事業所などの協力を得て、要配慮者支援(高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児など)をテーマとするインクルーシブ防災活動を展開している。

本助成事業では、①能登半島地震の被災障がい児・者の生活実態や自主的避難所の運営状況などの現地調査、②障がい理解と災害時の支援・配慮を学ぶ住民対象の講座開講、③自主的な福祉避難所の実践に向けた体験型ワークショップの実施、④住民主体で開設・運営する自主的福祉避難場の実践訓練の実施、⑤自主的福祉避難所の活動手引書作成の5つの活動を実施する。

災害時でも福祉が機能する体制づくりに向け、住民主体で公民館を要配慮者支援拠点とする参加型実践活動により、自助力と共助力の向上を図り、地域で横につながる自主的な福祉避難所づくりによる共生社会実現に向けた新しいモデルの構築を目指す。

2. ALPから始めるポジティブ終活の普及と ネットワークづくり

一般財団法人 ウェルネスサポート Lab
(福岡市中央区)

当団体は、「健やかな未来を次世代につなぐ」をミッションとしてかかげ、福岡市を拠点に、見守りサポート、通院同行・ドクター説明立ち合いなど様々な専門的サポート事業(医療・介護保険外)を展開している。

本助成事業では、地域住民がポジティブに終活に取り組むために、終活支援ガイドブックの作成とそれを通じた終活支援人材の養成・ネットワーク形成を行う。ALP(アドバンス・ライフ・プランニング:自己理解を深め他者に共有し自分らしく生きること、生き終えることを考え実現するために行動する取り組み)をベースに終活に関わる医療・介護福祉、士業、行政等を対象に実施する。

終活支援をインフォーマルなサービスとして構築し、地域内で終活に取り組める制度や地域内の関係性づくりを進めることにより、「ネガティブな終活」のイメージを払拭し、住み慣れた場所で最期まで自分らしく生きることができると地域づくり、都市圏・地方中核都市モデルの構築を目指す。

3. 高齢者が活躍できる多世代つながり愛拠点 立上げ事業

一般社団法人 やす地域共生社会推進協会 (滋賀県野洲市)

当団体は、「やさしさがつながる地域共生社会の実現」を理念として、商助を軸にしたまちづくり活動を展開している。

近年、高齢化と人口減少に伴い空き家が急増する中、空き家の有効活用と、高齢者の健康寿命延伸のための介護予防が求められている。

本助成事業では、空き家を有効活用した高齢者の通いの場や活躍の場づくりとともに、こどもや子育て世代も気軽に立ち寄れる多様な世代の交流拠点及び支え合い拠点として「ホビーハウス」の立ち上げ、介護予防体操や趣味の活動、各種イベント、講座などの開催に合わせて、キッズスペース開設と子育て世代交流会や子ども食堂の開催、高齢者や障がい者のちょっと困ったを助け合える活動の仕組みづくりを行う。

高齢者が長年培ってきた知識や技能や経験を活かし、地域社会に貢献できる多様な活躍の場となる多世代つながり愛拠点を、地域の人と話し合いながら作り上げることで、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指す。